

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 8 月 4 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103569		
法人名	社会福祉法人 I G L 学園福祉会		
事業所名	グループホームゆうゆう		
所在地	広島市安佐北区安佐町後山1047番地 (電話) 082-838-3434		
自己評価作成日	令和4年7月12日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103569-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年8月2日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「家族のように愛し敬い支え共に歩んでゆくグループホーム」の理念の下、ご入居者様とスタッフが笑顔で明るく楽しく助け合いながら、家庭的なぬくもりのなかでその人らしい暮らしが守られる様支援し、ご家族様、地域の皆様とのふれあいと絆を大切にしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>同敷地内の法人グループとの連携を図っており、特別養護老人ホームを始め、常に事業所間での協力体制ができています。特徴的な取り組みとして、第一に、月3～4回の外出日を設けドライブに出掛けている。第二に、ホーム内でも出来るレクリエーションの充実を図っている。第三に、パソコンなど記録の効率化を図り、利用者との関りを増やす取り組みをしている。第四に、食事の充実を図る取り組みとして、『いったつもの喫茶』『握りずしパーティー』など実施し、『居酒屋』では、利用者が好きな食べ物や飲み物を注文する行事を行っている。第五に、法人の方針として、働きやすい職場づくりの取り組みから、長く勤務する職員も多く、職員は、研修やミーティングを積極的に行い、情報を共有しながらチームケアをモットーに日々支援に取り組んでいる。職員の明るい笑顔と、もてなしの心の取り組みを実践している。</p>

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念「家族の様に愛し敬い支え共に歩いていく」を毎朝職員一同唱和、共有し、IGLの理念「隣人愛」意識しながら利用者様と接している。	法人全体の理念『隣人愛』のもと、事業所理念を各フロアー、トイレの見えやすいところに掲示している。毎朝の朝礼時に唱和し、ケアを実践する上での立ち返るべき原点としている。年間事業計画を作成し、年間目標を掲げ、年度末に振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域が主催する「ふれあいサロン」「くつろぎサロン」やお祭り、近隣グループ合同の行事に利用者が参加している。昨年度、今年度もコロナウイルスで行事が開催されていない。	家族や地域住民の方は不参加であるが、事業所の夏祭り、敬老会、文化祭は継続している。以前は、地域が主催する『ふれあいサロン』『くつろぎサロン』やお祭り、また、近隣のグループホームとの交流を深めていたが、新型コロナウイルスの影響で交流が難しくなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザー研修を受講した職員が依頼があれば、講習会で講師をし、支援している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在コロナウイルス感染防止のため2ヶ月に一度、書面にて実施している。今年度からは郵送して返信封筒を同封しているが、ご家族様、地域の方々からたくさんのご意見・ご感想を頂いている。頂いた貴重なご意見を参考に今後活かしている。	現状下では当会議は書面で会議を継続している。開催後は、参加メンバーに返信用封筒を添え、書面報告を送付する中で、意見や要望を頂くようにしている。以前に、ホーム近くの近隣住民の方を招待し、良いお付き合いができるようになり協力者が増えた取り組みもある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	インターネット、ブログ、運営推進会議などを通じて情報を共有し、意見交換をしている。	市との連携は、ホーム長や併設の特別養護老人ホームの事務が主に担っている。そこで得た情報や報告事項があれば、事業所へ周知している。福祉課や生活課と定期的に協力関係の構築を図っている。地域包括支援センターからの相談もあり、良好な関係づくりに努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し定期的に日々のケアの見直しを行っている。職員が身体拘束について理解できるように身体拘束についての項目を毎朝申し送り時に唱和している。	年1回研修の実施、身体拘束防止委員会を年6回開催し、定期的なケアの見直しをしている。事業所独自の『言葉づかい事例集』を作成し、その都度改定しながら、毎朝の朝礼時に唱和して共有している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	外部・内部研修に参加した職員がケアミーティングで研修報告し、全員が共通理解している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部・内部・社内研修で学ぶ機会があり、理解した上で活用できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約はホーム長・管理者が十分説明を行い、家族様に納得して頂いて契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族様が来訪された時には、近況報告や要望などをお聞きし、年に1度の家族会では、全体の利用者様の様子などを報告し意見交換をしながら、今後の運営に役立てるようにしているが、現在はコロナ感染予防対策のため、手紙や電話にて行っている。	感染状況を踏まえ、窓越し面会、オンライン面会、電話の取り次ぎなど柔軟に対応をしている。年4回、本人の写真と本人からのコメントを添えた増刊号を家族へ送付している。ケアプランの更新など本人・家族への意向を把握し、出来る限りの要望に対応している。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のケア会議、フロア会議で意見交換を行っている。また個別での意見についても、ホーム長や管理者に聞いてもらっている。</p>	<p>毎月の3ユニット合同でのケア会議、各フロア会議で、利用者の支援に関わる話し合いが多く、支援の充実を図った例がある。随時、必要に応じて個別面談を実施している。福利厚生の実、職員個々の誕生日には、理事長からプレゼントの贈呈がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の勤務状況や環境を把握してもらっている。ホーム長との面談で個別に話し合える機会がある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員に必要な研修に参加し、職員にスキルアップに繋げている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>現在コロナウイルス感染防止のため、行えていない。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時の不安な気持ちに寄り添い、全員で見守り安心できるような声掛けを心がけ、信頼関係を作れるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族様と情報の共有を行い、安心して頂けるよう対応している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者様とご家族様の不安や要望から、その時に必要な支援がすぐ出来るよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日常生活の中で利用者様の出来る事をして頂いたり、個性を尊重しながら一緒に生活している関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>地域の「ふれあいサロン」には地元出身者を優先して参加させる事で知人と話す機会を設けて馴染みの関係の継続を支援している。コロナ感染防止で対面面会が禁止となり、家族にメールや写真を送り、窓越し面会を予約で人数制限して行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>住み慣れた場所や馴染みの方が集まれる場所や面会が気軽に出来る雰囲気づくりに力を入れていたが、現在は家族様との窓越し面会で支援している。</p>	<p>ドライブの際に、それぞれの馴染みの深い地域、自宅付近を通り、車内で会話が弾んでいる。毎月、『面会時間表』を送付し、事前予約制で、なるべく面会ができるように配慮している。利用者の意思疎通が難しい方には、家族からの情報、生活歴などから把握するように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>個々の個性や相性を配慮し、テーブル席の工夫や日々のレクリエーション等で工夫し支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退居後も家族様が相談に来られたり、訪ねて来られる関係づくりが出来ている。中にはボランティアで清掃を下さっている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりとの関わりを大切にして、希望や思いを聞き取り意向の把握に努めている。</p>	<p>利用開始時に『ライフスタイルヒストリー』にて、利用者の生活歴、趣味や嬉しかった事、悲しかった事などを家族に記入して頂き、一人ひとりの思いや希望の把握に努めている。利用者の好きな物など把握し、例えば、食事の充実で握り寿司パーティーなど実施している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>利用者様と家族様から生活歴や生活環境を詳しく聞き取り、自分らしく生活頂けるよう努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>日々の生活の中で得た情報を記録に残し、全スタッフで共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者様毎に担当者を決めている。ケアプランの実施状況は主として担当者が毎日チェックし、計画作成者がまとめている。その後、担当者・計画作成者・家族様又は利用者様が出席してケアカンファレンスを行い、ケアプランを作成している時には、法人の看護師や機能訓練士に相談する事もある。</p>	<p>利用者・家族の意向を踏まえた計画を作成している。担当者が毎日モニタリングを実施している。本人の役割作りが大事だと考え、台所の手伝い、掃除などを行い、楽しみが増える取り組みをしている。必要に応じて、医師、看護師、機能訓練士に相談し、助言を受ける事が出来ている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアチェックシートに日々の状態や活動記録を記入し、周知事項は連絡ノートに記入し申し送り時に報告する。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時々状態の変化に柔軟に対応した取り組みを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事やサロンへ参加し、地域の方々と交流している。(現在はコロナ感染予防のため、出来ていない)</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問看護や訪問診療と連携し、利用者様の健康管理に努めている。利用者様と家族様の要望でかかりつけ医を決めている。協力医が毎月1回往診して利用者様の健康状態を把握している。</p>	<p>利用開始時に相談し、以前のかかりつけ医を決めることができるが、往診や緊急時の事もあり、殆どがホームの協力医を選択している。利用者個々の病状により、主治医に相談し、適切な医療が受けられるように対応している。必要に応じて、歯科や皮膚科の診察を受ける事が出来る。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎週1回訪問看護師が来られ、利用者様の状態の変化やスタッフの相談に乗って下さり、密接な連携がとれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報交換のため、入院中は病院に定期的に訪問し状態確認をしながら今後の検討をしている。(現在はコロナウイルス感染防止のため、ZOOMなどを活用して情報交換に努めている。)		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に重症化した際の要望を家族に確認している。必要に応じて家族、医療関係者、訪問看護師とカンファレンスを行い、方針を共有して支援している。	年1回研修を実施している。看取りの経験もあり、重度化した場合、その都度、家族や医療関係者とカンファレンスを行い方針を決めている。医療との連携を図りながら、その都度、本人の状態に応じてケアプランの見直しをしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ケアミーティングで緊急時の対応研修を行っているが、看護師、OTなどを講師に招き、急変時の対応を学ぶ研修を企画したい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署や地域とも協力し、定期的な訓練を行い全職員が避難方法を身につけている。年1回の避難訓練と職員が市防災センターでの消防訓練に参加している。災害に備えて非常食・水などの備蓄を行っている。	同敷地内に特別養護老人ホーム、学生寮があり地域の協力体制を整えている。警戒レベル、気象状況によって、1階から2階、3階へと垂直移動できる体制を整えている。火元を出さない工夫として、毎月コンセント点検を実施している。水、食料など備蓄と簡易ベッドを用意している。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	「人格の尊重」についての法人研修を行っている。今年度はコロナ感染防止で研修資料が事業所に送られ職員各自が学習し、意見を出し合い、利用者様の尊厳を傷つけない言葉遣いを検討し、「言葉掛けの事例集」を作成して取り組んでいる。	年1回研修を実施している。例えば、幼児言葉に気を付けるなど、利用者個々に合わせた言葉掛けとし、節度ある言葉掛けを行っている。ケアミーティング時には、注意喚起や、自らの言葉かけを振り返っている。事業所独自の『言葉づかい事例集』を作成して取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様の要望を聴きながら、出来るだけ添えるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や気分に合わせて、無理のないよう日々過ごしていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	気に入られている服や好みなどに配慮したり、行事の日にはいつもより念入りにお化粧をして華やかな気持ちになって頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や配膳を手伝って頂いたり、食後の食器洗いを一緒に行いコミュニケーションをとりながら支援している。	各階で調理し、盛り付けなどは利用者と一緒にしている。職員の行事担当者が企画・立案し、月2～3回の季節毎の行事食、『握り寿司パーティー、居酒屋、焼き芋、サンマ焼き』など提供し、食の充実を増やす取り組みをしている。今月の夏祭り開催に向けて準備をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>献立はIGL統一献立で管理栄養士により栄養管理している。個々に合わせた水分摂取をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛けを行い介助と毎晩義歯の消毒洗浄を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>行動を観察しながら声掛けにて介助し、自立支援に努めている。排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。</p>	<p>各居室にトイレがあり、トイレの順番を待たずに排泄が出来るように環境整備をしている。業者からの紙おむつのアドバイスを頂き、月1回のフロアーミーティングで話し合いを行い、トイレ誘導や紙おむつの工夫をし、紙パンツから布パンツへ移行した方もいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の排便パターンを把握し、十分な水分、運動と乳酸飲料を取り入れ便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>2日に1回程度入浴できるようにしている。希望があれば毎日の入浴も可能である。利用者様の状態に応じて、見守りや声掛けだけの対応を行っている。</p>	<p>基本週2～3回であるが、希望があれば毎日の入浴も可能である。衣類が汚れた場合は、その都度シャワー浴を実施している。皮膚トラブルの際は、足浴を行い、清潔保持・下肢のむくみの軽減をしている。入浴後は、保湿剤の塗布、フットマッサージ、爪切りと個別対応をしている。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	午後から一人ひとりの体調や意 思にお任せし、居室で休んで頂 く時間を作っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	個々の服薬について職員同士連 絡し合っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	以前からお好きだったことを提 供したり、出来る事を見つけた り、お手伝いをお願いするなど を支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	気候の良い時期は外気浴や散歩 に出掛けるなど、その方に合わ せて支援している。(現在はコロ ナ感染予防のため、施設内敷地 で散歩したり、ドライブをしたり して外出支援をしている。))	日常的に周辺を散歩している。 月3~4回の外出日を設けドライ ブに出掛けている。利用者の馴 染みの深い地域、自宅周辺近く を通ったり、季節毎の外出支 援をしている。外出自粛の中、 ホーム内で出来る、レクリエー ションの充実に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	個人での買い物の機会はないが 、利用者様の要望があれば代わ りに買い物をし支援している。 利用者様の所持金は、家族様の 同意のもと、管理させて頂くこ とがある。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族様からの手紙や電話を繋いだり、時には利用者様の希望で電話をかけ、家族様との会話ができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用部分に季節ごとの壁画を利用者様と一緒に作成し季節を感じる。常に清潔を心掛けている。コロナ禍の今は換気にも気を使っている。</p>	<p>玄関入口には、手書きのウエルカムボードが置かれている。壁紙や家具などの色彩に気を配り、適所にソファを設置し、明るく暖かい雰囲気作りをしている。季節感のある壁面の飾り付けを利用者と職員が共同で作成している。室温調整など小まめに行っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>決まった席だけでなくソファなど、利用者様がお好きな居場所を選んでもらい過ごしていただいている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者様の馴染みの家具を持ち込み、家族の写真を飾ったり、それぞれ居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	<p>本人と家族と持参物を相談し、使い慣れた物、仏壇や家族の写真などを持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。本人の生活スタイルに応じて家具やベッドの位置などレイアウトを決めている。ベッドからトイレへの移動がしやすい様に、必要時に手すりを設置している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室やテーブル・椅子には名前を貼り、トイレの場所がわかるように示している。</p>		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	毎朝申し送り時、職員で理念を唱和し共有して実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	事業所が行う行事に地域の方々にも参加して頂き、利用者様と地域の方との交流を大切にしている。(現在はコロナ禍で実施していない)		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザー研修を受けた職員が、地域の講習会で講師の依頼があれば受け、支援している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、利用者様のご家族にも参加して頂き、今後の取組みについて話し合いをしている。(現在はコロナ禍で書面にて実施している)		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	「ますます体操」「ふれあいサロン」に利用者様が参加し市と町との関係を大切にしている。(現在はコロナ禍で実施していない)		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ケアの際に身体拘束について研修を受けた職員が報告し、職員全員が身体拘束しないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員会議やケアミーティングで虐待の防止について研修を受けた管理者や職員が伝達講習を行い、職員全員が虐待防止の周知徹底をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護について研修を受けた管理者や職員が報告し、権利擁護について理解し活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約や解約の際、利用者様やそのご家族様との説明の時間を設け、十分な説明を行い理解して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様、ご家族様の意見要望をケアプランに盛り込み、運営推進会議等で外部者へ表す機会を設け、運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者が職員に運営について、意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員は個々の目標を掲げ、向上心を持って日々の業務に取り組んでいる。また、職員の生活状況に応じて勤務を配慮し、働きやすい環境づくりをしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修に参加する機会を設け、職員のスキルアップ向上を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>月に一度、職員会議を行い各事業者が集まり交流を通じて質の向上を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>常に優しい言葉掛けを心がけ、利用者様との信頼関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族様が不安に思っている事や要望等に耳を傾けながら、信頼関係を築くよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>使用者様、ご家族様が望んでおられるサービスを見極め、対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>介護をするという立場ではなく、家族のように愛し敬い智に生活していく事で、信頼関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様が来訪された際に近況を報告する事で、家族様との信頼関係を築くよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>利用者様が大切にしてきた人間関係や、場所等の関係を崩さず支援するよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者様が皆で楽しめるようなレクレーションを考え、また、できる範囲でのお手伝いをして頂く等して、利用者様同士のコミュニケーションに努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>過去に入所されていた利用者様にも、行事に参加して頂く等して関係が切れないよう努めている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者様の思いや希望を尊重し、ご本人の希望に沿えるよう検討している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>これまでの生活環境や暮らし方を把握し、過ごしやすい環境に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>利用者様との会話を心がけ、現状の把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	フロアミーティングで利用者様の課題とケアを話し合い、アイデアを反映して介護計画を立てている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアチェックシートにその日の状況を記入し情報を共有する事によって、利用者様に合った介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	日々の生活の中で、利用者様のニーズに対応しながら、その時々で柔軟な対応ができるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源を把握し、個々の力が発揮でき、日々楽しく暮らしていけるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	医師、利用者様、家族様が話し合える機会を設け、適切な医療を受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度訪問看護が来られ、バイタルチェック、心身の状況を報告し、適切な指示を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急時は医療関係者と連絡を取り、迅速かつ適切な対応を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合、家族様と医療関係者と話し合いをし、今後の対応を考え支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ケアミーティングで緊急時の対応の研修を行い、実践力を身に付けている。最近ではAEDの使い方の指導を受けた。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災訓練を実施し、職員全員が安全かつ迅速な対応ができるよう努めている。非常食も常備して対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の性格を尊重し、会話をすることによりプライドやプライバシーを傷つけないよう対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	複数の選択肢を提供し、利用者様が自己決定できるように声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の話を聞き、何を望んでいるかを把握して希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日々の生活の中で着衣の乱れ、髪の手入れを確認し、身だしなみができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様が食べやすい物を提供し、食事が楽しめるよう支援している。また、食事の準備や片付けもできる事を手伝ってもらい一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>日々の記録表に水分摂取量・食事量を書き込み状況が把握できるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアや歯科受診することで，口腔内の清潔保持を徹底している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>常に職員で話し合い，利用者様の排泄パターンを把握して，適切な支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>運動を取り入れたレクリエーションや往診の際に排泄状況を報告するなどして，利用者様に応じた予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者様の好みの温度で入浴して頂き，リラックスできるよう心掛け，入浴時に会話などして，楽しめるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	利用者様に合わせた時間帯を把握し、休息して頂くことで安心した睡眠が取れるよう支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	職員全員が利用者様が服用している薬の用法や用量を把握し、服薬後の症状の確認に努めている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	利用者様に合ったお手伝いやレクリエーションで気分転換や楽しんで頂けるよう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	現在はコロナ禍で戸外に出れないため、天気の良い日には施設内で外気浴をし、ドライブで出掛けたり気分転換をしながら、楽しめるよう支援している。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	紛失を防ぐために、利用者さまが希望する物を職員が購入し代金は後から請求するよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>レクレーションの一貫で、利用者様に絵手紙を書いて頂くなどして、家族様との連絡のやりとりができるよう、支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者様それぞれの生活に合った環境作りを工夫し、居心地よく過ごせるように支援している。また衣替えすることで、季節感を感じて頂いている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間でレクレーションをすることで、利用者様全員が楽しめるよう工夫をし、ゆっくり一人で過ごせる空間も工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家族様との写真や嗜好品を居室に置くことにより、一人ひとりの生活感に合った居室作りを心掛けている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者様が「できること」や「わかること」を活かしてお手伝いや遊びを提供し、安心した生活が送れるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>毎朝理念を唱和し、スタッフ全員が理解しケアに当たっている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>利用者様と一緒に地域の方と清掃したり、行事に参加して交流している。現在はコロナ感染予防のため、職員のみ定期的に近隣清掃している。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>地域サロンでの認知症講習会など、依頼があれば講師して支援の方法などを活かしている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>現在はコロナ感染予防のため、2ヶ月に1度書面にて運営推進会議を行っている。今年度より郵送で資料送付を試みたところ、ご意見・ご要望の返信が増え職員が目を通し、サービス向上に活かしている。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>ブログやインターネットや運営推進会議などを通じて情報共有・意見交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を行い、拘束しないケアを実施している。利用者の安全を確保するために必要な時は家族に同意を頂き、必要な時間帯のみ行う工夫をしている。夜間、玄関の施錠はしてある。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会を行い、常にスタッフ全員にどんな事が虐待になるか意識して学べるよう、重要点をまとめた文章を朝礼で唱和し、理解し防止出来るように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護について研修を受けた職員がケアミーティングで報告し、権利擁護について理解し活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約や解約の際、利用者様やご家族様との話し合いを設け、不安や疑問点を理解・納得頂けるようにしている。改定等は書面でお知らせして、疑問点などは個々に対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	2ヶ月毎に運営推進会議を行い（※現在コロナ感染予防により書面で行っている）利用者様、ご家族様の意見・要望を反映させている。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回ケアミーティング・フロアミーティングを行い、職員の意見を伝えられる機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半年に1回、面談を実施し個々に目標を掲げ、日々の業務に取り組んでいる。職員の生活状況を把握し勤務を配慮し、働きやすい環境づくりをしている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の経験年数、力量に合う研修を受けられるよう年間で研修スケジュールをたてている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	月に一度職員会議を行い、各事業所が集まり研修会や意見交換などを通じて質の向上を図っている。(※現在はコロナ感染予防により書面にて行っている。)		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用者様の困っていること、不安要素などはなしを傾聴し、安心できるような関係づくりに努めている。時にはご家族様にご協力をお願いすることもあり、一緒に本人様が安心した生活を送れるよう、信頼関係に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人様、ご家族様から不安があれば話し合う事で不安を取り除くよう努めている。要望等はその都度連絡頂き、どのように対応するか話し、良好な関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者様、ご家族様と話をすることで、どんな支援を望んでいるか、どう過ごして行きたいかを見極め、職員で情報共有し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ホームの理念に基づいて、利用者様に接している。利用者様の話に耳を傾け、深く知るように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様と情報を共有し、共に支えていけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	利用者様が大切にしてきた人間関係・場所・持ち物を職員も大切に支援に努めている。食器は家庭的なものを使用し、一人ひとりが使い慣れたものにしていく。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	行事や日々のレクリエーション等での声掛けや、利用者様同士が会話を楽しめるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	過去に入所されていたご家族様からの相談に対応し、ホームの行事に参加してもらい、関係が切れないように努めている。（※現在はコロナ感染予防により、外部との行事は行っていない）		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の思いや要望を傾聴し、職員同士情報を共有し、出来る限り希望に沿えるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様、ご家族様にこれまでの生活環境や暮らし方を伺い、職員同士情報を共有し、安心して過ごして頂けるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の観察・記録・職員間の申し送りで把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプラン作成時、利用者様・ご家族様・職員と話し合い、要望や意見を伺い利用者様の現状に即した計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日の観察・記録・情報交換などで共有し、気づきや身体状況の変化等でケアプランを見直ししている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時々状態の変化に柔軟に対応した取り組みを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事や地域のサロンへの参加で、地域の方々と交流している。(※現在はコロナ感染予防により中止している)</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問診療や訪問看護と連携し、ご利用者様の健康管理に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1回訪問看護師と情報共有・相談を行っている。それ以外の日でも不安がある時は相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者とサマリーなどで情報提供し、入院中は病院に定期的に訪問・連絡を取り、病院関係者との関係づくりを行っている。(※現在はZOOMなどを活用している)		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様・医療関係者・訪問看護師などとカンファレンスを行い、方針を共有して支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	施設内研修で、医療関係者などを講師に招き、急変時の対応を学ぶ機会を作っている。最近ではAEDを使用しての緊急対応を学んだ。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署や地域とも協力し、定期的な訓練を行っている。非常食などの物品も確保して災害に備えている。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の意思を尊重し、言葉遣いに気を付けながら対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様の思いや希望を言える雰囲気づくり、傾聴し、出来るだけ利用者様の意思に沿えるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にし、その日の気分や体調に合わせた支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者様ご自身で洋服やお化粧品など、決めて頂いただき、身だしなみを気に掛けるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	日々も会話をしながら、楽しみながら食事をするように心掛けている。行事では「行ったつもり喫茶」などでは利用者様が店員になり注文を聞き、配膳するなどして楽しみながら食事することを支援している。		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事摂取量や水分量を記録・把握し調整している。好き嫌いや飲み込みの状態ですら食事メニューを変更したりして支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け・介助を行い、寝る前には義歯の消毒洗浄を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの状態やリズムを把握し、声掛け誘導している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけ運動や水分補給・乳酸飲料を取り入れ、排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの希望・体調などに合わせて入浴支援を行っている。入浴を嫌がる利用者様もいるが、タイミングを見計らって気分よく入浴してもらえるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>利用者様の生活習慣や体調に合 わせて、日中の休息も対応し、気 持ちよく眠れるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>職員全員が利用者様が服薬して いる薬の用法・用量を把握し、 服薬時は本人確認のため、日付 ・名前・いつの薬か声を出して 行うことで誤薬を防ぎ、薬の変 更があった時は状態を共有し、 変化の確認に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>利用者様に合った張り合いや喜 びを知り、レクリエーションや 嗜好品、気分転換を支援してい る。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。</p>	<p>天気の良い日はドライブや散歩 に出かけたり、ご利用者様の希 望に沿って外出するように支援 している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>利用者様が所持し紛失を防ぐた め、利用者様が希望される物を 職員が購入して来て対応してい る。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様が仕上げた絵手紙や増刊号にメッセージを書いてご家族様に送ったり、ご家族様にご協力頂き、電話による支援もしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日々環境整備や感染予防に努めている。生活感や季節感を感じられる花を飾ったり、歳時合った飾り物を一緒に作成した作品などを展示し心地良く過ごせるよう工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個人の居室や共用フロアで一人ひとりが個性に応じて過ごして頂けるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様に協力頂き、写真や馴染みがあるものを置いたりして気持ち良く過ごして頂けるように配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立にむけて居室やテーブルには名前を貼ったり、トイレの場所がわかるように示したりして工夫している。		

V アウトカム項目(3F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームゆうゆう

作成日 令和4年9月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6・7	虐待防止及び身体拘束防止についての専門知識を深め、介護現場で活用したい。	どのような場面においても虐待及び身体拘束ゼロを目指す。	全職員に対して研修や勉強の機会を与え、毎月のミーティング等で検討する。 委員会の活用。	1年間
2	48	コロナ禍になり外出・外泊などの楽しみが減ってきている。	心と身体が元気になる。	一年に一度、本人の思いを叶える一大イベントの計画を実施する。 計画の段階からご利用者主体で考えられるよう担当CSがサポートし、より楽しみを持てる企画の計画をする。 (例：墓参り、買い物など)	1年間
3	2	地域との関わりが希薄になっている。	地域と関われる工夫をし、日常生活の活性化をする。	散歩、外気浴、清掃活動中、地域の方との挨拶や会話を心掛ける。 地域が主催する行事は、積極的に参加する。	1年間
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。